

連携施策群「水素利用 / 燃料電池」の取組状況

平成18年11月21日 第61回総合科学技術会議における中間報告

(科学技術連携施策群の成果及び今後の課題と進め方(中間報告))

- 水素利用 / 燃料電池技術への幅広い応用が見込めるナノテクノロジー・材料分野の基礎的・基盤的研究との連携の強化又は研究者の拡充、流動性の向上による知識の積極的移入の促進等の課題を報告

平成19年2月 ナノ構造化燃料電池材料研究の視察 ((独)物質・材料研究機構(NIMS))

上記の課題対応の一環として、NIMS燃料電池材料センターを視察し、研究者との意見交換を実施。

「ナノ構造化燃料電池材料研究」は、戦略重点科学技術「クリーンなエネルギーの飛躍的なコスト削減を可能とする革新的材料技術」に位置づけられている。

平成19年5月～ 連携強化のための検討の実施

ナノテクノロジー・材料分野の基礎的・基盤的研究との連携の推進・強化等の課題について大学研究者、関係府省等とともに検討を実施

検討結果を踏まえ、本日の配付資料「基礎・基盤的取組との連携推進・強化について」を作成

今後の取組(取組をすでに開始)

連携施策群対象プロジェクトの18年度成果、19年度進捗状況及び20年度の概算要求の考え方について、ヒアリングを実施